



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4779 URL <https://www.softbrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,511	△7.0	211	△63.6	212	△63.6	112	△70.2
2019年12月期第2四半期	4,852	12.1	581	26.1	585	25.9	377	31.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 114百万円 (△70.5%) 2019年12月期第2四半期 387百万円 (27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	3.84	—
2019年12月期第2四半期	12.86	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,060	5,081	68.6
2019年12月期	7,278	5,223	68.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 4,841百万円 2019年12月期 4,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルスによる事業活動への影響が見込まれ、現時点では業績予想の算定は困難であることから、未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	30,955,000株	2019年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,696,500株	2019年12月期	1,704,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	29,256,055株	2019年12月期2Q	29,336,266株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（2020年12月期2Q：146,500株、2019年12月期：154,000株、2019年12月期2Q：167,300株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	4,511百万円(前年同期比7.0%減)
営業利益	211百万円(前年同期比63.6%減)
経常利益	212百万円(前年同期比63.6%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	112百万円(前年同期比70.2%減)

となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな景気回復が続いていたものの、2020年4月に新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発出され、社会・経済活動が急速に停滞したことから先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような環境の下、緊急事態宣言に伴う外出自粛要請や顧客の事業活動停滞等により、2020年4月以降は主力事業である営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業を中心に事業活動に影響が出ております。一方で、緊急事態宣言解除後を見据えてこれまでの営業活動を見直し、Webを活用したセミナー開催による集客強化や、Web会議による商談の実施等「新しい営業スキーム」の構築に取り組み、売上確保に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、主力事業である営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業が減収となったため、全体としても減収となりました。利益面におきましては、システム開発事業及び出版事業が増益となりましたが、営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業が減益となったため、全体としては営業利益、経常利益ともに減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

## 1. 営業イノベーション事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、働き方改革への取り組み等を背景に、企業の生産性向上や営業活動効率化を目的としたCRM/SFAソフトウェアへの投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られた影響により、主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売は特に緊急事態宣言発出後は低調に推移いたしました。教育・コンサルティングサービスについても、集合研修やセミナー等の開催の延期・取り止め等が発生いたしました。

以上の結果、売上高は2,378百万円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益は126百万円(同69.0%減)となりました。

## 2. フィールドマーケティング事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである定期フィールドビジネスや人材派遣ビジネスにおいて、緊急事態宣言発出中は多くの顧客が活動を自粛したため売上は伸び悩みました。緊急事態宣言解除後は顧客においても徐々に活動を再開しており、それに伴い売上も一定程度は回復しましたが、結果として減収となりました。

以上の結果、売上高は1,831百万円(前年同期比8.3%減)、セグメント利益は89百万円(同54.7%減)となりました。

## 3. システム開発事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、緊急事態宣言の影響によりテレワーク下での活動となりましたが大きな影響はなく増収となりました。費用面におきましては、引き続きプロジェクト管理の徹底による収益性の改善に努めました。

以上の結果、売上高は237百万円(前年同期比22.2%増)、セグメント利益は9百万円(同97.6%増)となりました。

## 4. 出版事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、緊急事態宣言の影響により顧客が活動を自粛したこと等により売上は伸び悩みました。費用面につきましてはコスト管理徹底により改善を図りました。

以上の結果、売上高は64百万円(前年同期比35.0%減)、セグメント損失は14百万円(前年同期は30百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 7,060百万円(前連結会計年度末比 3.0%減)

負 債 1,978百万円(前連結会計年度末比 3.7%減)

純資産 5,081百万円(前連結会計年度末比 2.7%減)

となりました。当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

## &lt;資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ217百万円減少し、7,060百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が249百万円減少したことによるものです。

## &lt;負債&gt;

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、1,978百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が110百万円減少したことによるものです。

## &lt;純資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し、5,081百万円となりました。主な要因は、260百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、68.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年4月30日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、新型コロナウイルス感染症拡大につきその収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2020年1月30日に公表しました業績予想を一旦取り下げて未定とし、業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表いたします。

また、上記の通り2020年12月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定とし、2020年12月期の業績予想の算定が出来次第、改めて公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,010,923	3,761,688
受取手形及び売掛金	1,799,399	1,790,053
商品及び製品	56,081	50,179
仕掛品	110,871	112,614
その他	250,989	192,234
貸倒引当金	△20,211	△16,479
流動資産合計	6,208,053	5,890,289
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	107,716	110,264
減価償却累計額	△15,404	△19,710
建物及び構築物(純額)	92,312	90,553
工具、器具及び備品	357,563	371,969
減価償却累計額	△278,238	△295,054
工具、器具及び備品(純額)	79,324	76,915
その他	—	2,081
有形固定資産合計	171,637	169,550
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	450,944	390,139
ソフトウェア仮勘定	173,621	367,574
その他	915	915
無形固定資産合計	625,480	758,628
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	187,635	191,290
長期滞留債権	40,840	40,937
繰延税金資産	79,941	43,149
その他	3,000	5,025
貸倒引当金	△40,840	△40,937
投資その他の資産合計	273,076	241,966
固定資産合計	1,070,195	1,170,145
資産合計	7,278,248	7,060,435

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,695	408,060
未払金	465,418	409,627
未払役員賞与	32,727	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	28,000	—
未払法人税等	175,955	65,274
前受金	547,616	774,571
賞与引当金	57,653	14,329
返品調整引当金	8,017	6,657
その他	222,739	172,503
流動負債合計	2,022,823	1,951,024
固定負債		
株式給付引当金	18,317	18,006
その他	13,353	9,421
固定負債合計	31,671	27,428
負債合計	2,054,494	1,978,452
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	4,071,426	3,933,950
自己株式	△290,104	△285,851
株主資本合計	4,975,182	4,841,959
非支配株主持分	248,572	240,023
純資産合計	5,223,754	5,081,982
負債純資産合計	7,278,248	7,060,435

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,852,302	4,511,577
売上原価	3,117,943	3,188,048
売上総利益	1,734,358	1,323,529
販売費及び一般管理費	1,152,592	1,111,733
営業利益	581,766	211,796
営業外収益		
受取利息	189	120
受取返戻金	1,050	—
為替差益	719	223
助成金収入	670	4,376
その他	1,434	71
営業外収益合計	4,063	4,792
営業外費用		
支払利息	651	445
リース解約損	70	—
解約違約金	—	3,257
その他	39	—
営業外費用合計	760	3,703
経常利益	585,069	212,885
税金等調整前四半期純利益	585,069	212,885
法人税、住民税及び事業税	180,380	61,617
法人税等調整額	17,096	36,792
法人税等合計	197,476	98,409
四半期純利益	387,592	114,475
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,204	2,009
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,387	112,466



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	387,592	114,475
四半期包括利益	387,592	114,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,387	112,466
非支配株主に係る四半期包括利益	10,204	2,009

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	585,069	212,885
減価償却費	153,278	169,474
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,667	△3,635
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,452	△43,324
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,705	△1,359
受取利息及び受取配当金	△189	△120
支払利息	651	445
助成金収入	△670	△4,376
前受金の増減額(△は減少)	167,057	226,954
売上債権の増減額(△は増加)	△31,239	9,346
たな卸資産の増減額(△は増加)	19,613	4,159
仕入債務の増減額(△は減少)	2,809	23,364
未払金の増減額(△は減少)	△10,577	△42,898
その他	△45,185	△90,348
小計	813,201	460,568
利息及び配当金の受取額	189	120
助成金の受取額	670	4,376
利息の支払額	△670	△421
法人税等の支払額	△280,194	△168,181
法人税等の還付額	8,634	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	541,830	296,469
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,406	△21,433
無形固定資産の取得による支出	△112,540	△292,370
差入保証金の差入による支出	△137,823	△9,642
差入保証金の回収による収入	8,408	70,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,361	△253,227
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	70,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△70,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△28,000	△28,000
配当金の支払額	△230,152	△248,160
非支配株主への配当金の支払額	△9,656	△10,557
自己株式の取得による支出	△43,530	—
その他	△1,378	△5,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312,717	△291,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△901	△517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,150	△249,235
現金及び現金同等物の期首残高	4,010,159	4,010,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,993,008	3,761,688

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,560,981	1,997,736	194,288	99,296	4,852,302	—	4,852,302
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,036	1,632	17,585	381	35,635	△35,635	—
計	2,577,018	1,999,368	211,873	99,678	4,887,938	△35,635	4,852,302
セグメント利益 又は損失(△)	409,260	197,844	4,818	△30,016	581,906	△140	581,766

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△140千円には、固定資産の調整額△96千円、棚卸資産の調整額△44千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,378,064	1,831,615	237,345	64,552	4,511,577	—	4,511,577
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,204	493	—	—	10,697	△10,697	—
計	2,388,268	1,832,108	237,345	64,552	4,522,275	△10,697	4,511,577
セグメント利益 又は損失(△)	126,726	89,695	9,520	△14,224	211,717	78	211,796

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。